



新町70周年記念

写真で振り返る 白い森の国おぐに No. 8



⑧昭和33年の中央通り商店街の様子（昭和33年12月）

写真が撮影された昭和33年当時、中央通り商店街には、食料品店や菓子店、酒屋、衣料品店など数多くの店舗が軒を連ねていました。道路は未舗装であり、昭和40年頃に舗装道路の整備が進みました。

商店街では季節や行事ごとに様々な催しが開催され、多くの買い物客でにぎわいました。また、定期的に様々な市も開かれ、新潟など町外の事業者が空き店舗や店の軒先を借りて植木や花、食料品、衣料品を販売していました。お盆や年末には出稼ぎで県外に出ていたかたたちが、商店街で衣料品や食料品などのお土産を買い込んで、家族が待つ家に帰って行く姿も見られました。